

矢崎地球環境憲章を制定

システムの構築と認証取得へ

矢崎地球環境憲章が本年6月20日、正式に制定された。地球環境に関する矢崎の取り組みは、既に、平成4年12月21日から①取り組み方針②行動指針③取り組み体制を確立し、推進してきた。

この間、ISO14001は昨年9月1日に国際規格として正式に発行され、続いて10月20日にJIS Q 14001として制定された。

天竜工場は本年2月、国内のトップを切ってISO14001の認証を取得しており、旧来の内容を見直し、正式に制定されたことにより、ISO14001取得に挑戦する矢崎グループの企業姿勢を明確に示したといえる。

ISO14001は、経済活動の地球環境に与える負荷……地球規模での温暖化、砂漠化、熱帯雨林・森林の減

少、酸性雨など……が年々増え、ISO14000システムに日欧米の経済界の代表が集まり、「地球環境にこれ以上の負荷を与えないで経済の持続的發展を行う」ことを提唱し、その実現のためには国際標準化が有効であることからISO(国際標準化機構)に提

案し、ISO14000システム(環境マネジメント)としてきたものである。このISO14001に規定してある環境マネジメントシステム要求事項は、法律や基準と違って、任意の規格であるため、強制ではなく、それぞれの組織(企業、事業

体など)が自主的に、つまり自らの意志で行うべきものである。

矢崎地球環境憲章は、日本語と英語の二カ国語併記で、海外も含めたグローバルな企業姿勢を打ち出している。その内容は、つぎのとおり

矢崎地球環境憲章

【前文】 私たちが生活を営む今日の社会は、急激な科学技術の発展により、豊かな生活を享受できるようになりました。

しかしその反面、地球温暖化、大気中のオゾン層破壊、酸性雨、熱帯雨林の減少、砂漠化、海洋汚染など、地球レベルでの環境破壊が進み、地球上の生命の存続に大きな影響が表面化してきています。

この地球環境問題には、企業活動が大きくかかわっていることが否めません。私たちが矢崎は、私たちの事業活動が地球環境と密接な関係をもっている、深く認識し、地球環境を守るために、最大の努力をいたします。

【行動指針】

一、組織と運営……環境保全のための社内組織および運用制度を整備し、環境問題を担当する責任者として事業所長を任命し、責任の所在を明確にする。環境の保全のために具体的な計画を作成し、これを実施する。

二、環境管理基準の充実とレベルの向上……国および地方自治体の定める環境規制を遵守し、さらに、自主的に環境基準を設定し、その目標達成

に努め、環境管理レベルの向上を図る。また、監査制度を導入して、環境監査により活動を確認し、自主管理の向上に努める。

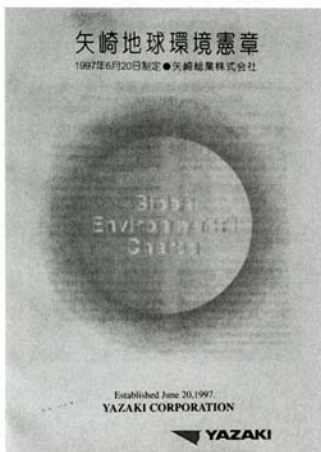
三、事業活動について……製品の開発、設計、生産、物流、廃棄に至る全ての段階において、地球に及ぼす影響を予測し、評価して、環境保全に積極的に取り組めます。さらに、地球の資源は有限であること認識して、省資源、省エネルギー、リサイクル等に積極的に推進する。

四、地域社会への貢献……より良い地球環境の実現をめざすため、事業を通してだけでなく、良き企業市民として、

地域社会の地球保全活動に積極的に参画して、地域社会との対話を実施し、相互理解と協力関係の強化に努め、地域社会の一員として貢献する。

五、海外での事業活動……進出先国の環境基準を遵守し、自主的に、管理基準を設定して、環境の保全に努める。さらに、日本国内で培った環境管理システムのノウハウを、積極的に提供すると同時に、海外の環境管理活動の情報を入手して、国内外の協力のもと、グローバルな地球環境保全活動を推進する。

六、広報、啓蒙活動……環境保全、生態系の維持などについて積極的に広報、啓蒙活動を実施する。



矢崎地球環境憲章

1997年6月20日制定 ● 矢崎総業株式会社

Established June 20, 1997
YAZAKI CORPORATION

YAZAKI